

加子母・付知地区女性懇談会 会議録

| | |
|------|--|
| 開催日時 | 平成22年1月26日(火) 19時00分 ~ 20時53分 |
| 開催場所 | アートピア付知交芸プラザ ホール |
| 出席者 | 市民：36人 行政：大山市長、小池付知総合事務所長、近藤文化スポーツ部長、林地域振興局長、細川加子母企画振興課長、安彦付知企画振興課長、志村付知生活福祉課長、熊崎加子母生活福祉課長、日下部加子母企業立地課長 |

■司会者等あいさつの概要

- ・皆さん本日はお忙しい中、また夜分寒い中お集まりいただき誠にありがとうございます。また市役所からも大山市長様をはじめ大勢の皆様においでいただきありがとうございます。私は本日の司会・進行を務めさせていただく●●と申します。
- ・副司会を務めさせていただく●●と申します。よろしくお願いします。

■市長あいさつ

- ・昨年まで女性懇談会はそれぞれの地区ごとに開催していた。
- ・合併から5年過ぎ合併10年のひと区切りで考えると後半に入ってきた。
- ・これからの課題はひとつの新しい中津川市にいかに関わっていくかで、今まで地区ごとで開催していた懇談会を隣地区同士で合同開催するのも、そういう方向へ沿ってのことであり、加子母・付知両地区合同の女性懇談会というかたちで新たに出発をさせた。
- ・来年の4月には市議会議員選挙もあり、この選挙から中津川市全域を一つの選挙区として、今現在30人みえる市議会議員さんが24名になる。これもまた新しい枠組みでの選挙ということで、それも合併後の新しい市をつくっていく一つの課程である。
- ・女性懇談会も従来でいくと職員が表にずらっとたくさん並んでいたが、今日は私と総合事務所長だけで答えさせていただくかたちで、皆さんの意見・発言をしやすいように取り組みました。
- ・広報なかつがわの1月号に新年の挨拶をあげているが、今年重点として景気対策が第一となります。二番目には人口の減少をくい止めるということで、3点セットプラス4で表している。3点セットとは「産業の振興」「住宅施策」「子育て支援」である。プラス4とは「教育」「医療」「交通弱者への足の確保」「情報化」であります。
- ・その3点セットプラス4を実行することによって人口の減少をくい止めていくことが大きな課題であり取り組みである。
- ・その他では地球の環境問題が大きく注目されている。自然エネルギーの活用やゴミの減量化、森林整備もこれに関わっている。環境中津川25市民会議という会議をおこして市民の皆さんと共に取り組んでいきたい。
- ・その他では今話題になっている3項目が重点である。一つは苗木で地元の皆さんにお願いをしているが、新しい衛生センターと汚泥処理の施設、ミックス事業であります。これを22年度実際に動かしていくために、今年度のうちに地元の皆さんの理解をいただけるよう取り組んでいる。二つめはリニアモーターカーで、この1・2年のうちに路線と駅の位置が決まってくる。東濃に一駅ということで、そこまでは確定しているが、東濃五市でどこに駅が出来るのかはこれから決まる。東濃のどこに駅ができようとも、東濃東部の恵那・中津川は東西交通と南北交通の交点になるという事で、広域の拠点になる可能性が高い。広域のまちづくりの構想をしっかりと立てていく事も取り組みとして必要である。三つめは新しい図書館の建設です。新図書館建設は箱ものだが、それ以上に読書をどう活発にしていくかという観点から取り組みをしていき、その延長線上において建設を進めていく。この点については後ほど文化スポーツ部長

からもう少し詳しく説明をします。

- ・今日は合同の女性懇談会ということで、司会の方々にもご苦労をお掛けするが、よろしくお願ひします。

■文化スポーツ部長より新図書館建設についての説明

■市執行部自己紹介

小池総合事務所長、細川加子母企画振興課長、林地域振興局長（近藤文化スポーツ部長は先の新図書館建設の説明時に自己紹介済み）

■懇談内容

| 発言者 | 発言要旨 | 対応者 | 対応(回答)の内容 |
|------------------------|--|----------------------------|---|
| (加子母) ささゆり会 ●●さん | <ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティバスの運行について質問します。 ・この質問にあたり、今日の午後加子母総合事務所15時発のコミュニティバスに初めて乗車して加子母を半周してきた。 ・旧道を通ったり、自宅近くの停留所で乗り降りでき、非常にありがたく地域になくてはならない交通機関である。 ・利用者の皆さんもバスを通院や買い物に上手に使っており、喜んでみえた。 ・今度コミュニティバスが付知と加子母に一台ずつになると聞きました。加子母は現在、火・木・土の運行ですが、一台ずつなら是非、月曜から土曜までの一週間の運行にしてもらえれば、曜日を | <p>加子母企画振興課長</p> <p>市長</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・とりあえず加子母の状況を説明します。 ・現在、朝から夕方まで5便運行している。朝の1便から3便までの利用が非常に多いようである。20年度には約2,500人の利用があった。 ・現在12月までの利用者が約2,200人ぐらいなので、あと1~3月までを足すと、21年度は約2,800人ぐらいの利用になる。 ・ご指摘があったように、現在は付知と加子母が1台のバスを月・水・金と火・木・土にわけて使用している。これが今度、緊急対策で1台入れてもらい付知に1台、加子母に1台になる予定で、毎日運行も可能な状態になる。 ・現在、運行をシルバー人材センターに委託している。今後、運転手の手当等の予算措置が必要になってくる。 ・コミュニティバスについて、大変いいという評価をもらった事はありがたい事。また、毎日運行して欲しいという要望もよくわかる。 ・運転手の手当等の確保という話で、予算的な措置については出来るだけ前向きに考えていきたい。 ・阿木や落合、旧中津川市内でもコミュニティバスを導入している所もある。また、旧中津川市内でもバスのサービスがされていない所がある。そういう所をどうしていくか課題もある。 ・福岡はNPO法人でやっている。それもひ |

| | | | |
|--------------------------------------|---|-----------|--|
| | <p>気にすることなくもっと多くの皆さんが利用できると思います。</p> | | <p>とつの仕組みであるが、それだけではなく、ファミリーサポート事業という事で子育て支援のサポートと高齢者の介護サポートで移送サービスがある。その移送サービスをもう少し充実したい。そうすればサポート会員と利用会員という様に登録してもらい、路線が通らない不便な場所にも呼んでもらい、利用会員が来て欲しいと言ったら、サポート会員がそれに対応し移送サービスを行う、というような形のファミリーサポートを充実させたい。その利用者がまとまれば、自家用車ではなく公用車としてマイクロバスなどを使用し送迎することも考えうるのではと思う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・様々なメニュー・バラエティを持たしたサポート内容にしていくようにしたい。 ・コミュニティバスだけに頼っていると取り残されるところもある。福岡で行っているNPO法人の取り組みを否定するわけではない。それもひとつのやり方で、恵那市の中野方でそれを真似て広がっているような状況もあるので、福岡の取り組みは福岡の取り組みとして否定はせず、多様なかたちで交通弱者の足の確保をしていきたい。 |
| <p>(付知) 北商工会付知支部女性部 ●●さん</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・東濃地区商工会女性部連絡協議会では毎年フレンドリーパーティーというのを開催している。 ・約20年近く開催しており、昨年は9月13日に蛭川ゴルフ場にて男性28名、女性24名で開催された。 ・男性は40歳くらいまで、女性は年齢制限しないで参加費2000円とし、軽食を取りながら簡単なゲームと1対1で話せる時間を作り、10組のカップルが成 | <p>市長</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・挨拶でも人口の減少をくい止めるのを重点的に3点セットプラス4という事で、4とは教育・医療・交通弱者の足の確保・情報化という事。先程、交通弱者の足の確保の関連でコミュニティバスの話を頂いたが、今度はそういう意味では子育て支援以前の結婚の部分。 ・子育て支援と言っているが、それ以前の事も手当しなければという意識は強く持っている。 ・企画部の中に少子化対策課という課がある。子育て支援だけではない色々な取り組みをして少子化を防いでいこうという課。それを昨年から企画部に設置した。 ・今の婚活と言われる昔で言えば仲人おばさんというものが、見合い結婚を避ける人が増える中、だんだん廃れてきた。そういった個人的な活動ではなくて、組織という形でやって頂いている事は大変ありがたい活動である。 ・そのような活動を市として大いにバックア |

| | | | |
|--|--|-----------|--|
| | <p>立した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後も続けていくための問題点として、女性の参加者が集まりにくい。助成金がいつまでつくかわからない。 ・中津川市にPRの協力、助成金の協力をお願い出来ないか。 | | <p>ップしていきたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・都会では婚活パーティが流行っているとテレビでもやっていたが、それだと民間レベルでの儲け仕事の部分もあり、そういう場所に行くのに安心感がない。都会ではドライに会費を払い参加するのだと思うが、我々のような地方においては、そんな民間もないし、そういう意味では皆さん方にやって頂く事はありがたいこと。 ・そこを市としてバックアップする事は、安心感を与える事にもつながる気がしている。 ・活動をバックアップするという方向性を持ちたい。活動に箔を付けるという言い方はいけないと思うが、安心感を持って参加して頂くように市として後援をし、何らかの予算的なバックアップをしていきたい。 ・今後は、是非付知支部だけでなく、地域全域でもやって頂きたい。 ・特に加子母は牛を飼っておられる若い方々、独身の方々が結構みえられると聞いている。加子母の飛騨牛が今、仕事は順調に伸びているところですが、そういった部分に壁があると聞いているので、付知と言わず各地域でやって頂きたい。 ・また、こんな形式でやるといいなど、紹介やノウハウを広めて頂いたらありがたいと思います。 ・少子化対策課の職員に付知総合事務所を通じてご意見等を聞かして頂き、それをまた各地域にも広めていきたい。 ・阿木では色々な団体が集まり、いきいきネットというのを作って、その中の活動で婚活パーティのような事を開催している話も聞いている。 |
| <p>(加子母) 北商工会加子母支部女性部 ●●さん</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・主要道路などの整備についてお尋ねします ・これは女性部だけでなく加子母全体のお願いになるが、加子母地区は | <p>市長</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・濃飛横断自動車道という計画があり、最初の挨拶でも申し上げたが、リニアモーターカーを想定していくと、東西交通と南北交通の交点としての中津川の価値があがってくる。それに応じた広域のまちづくりをしていくという課題ですが、その部分の方向性の中に含まれるお話しを頂いたと思う。 |

| | | | |
|--|---|--|---|
| | <p>中津川の最北端に位置しており、峠で遮られているので主要道路の整備については特にお願いしておきたい事項です。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・城山大橋が無料になり、坂本の農道も出来て通勤者も増えた。市民病院へ通う人、買い物へ行く人も増えている。だが加子母地区から中津川市街地までは45分間強と時間がかかる。 ・なかでも塞の神峠のトンネルから護山神社うえまでの国道は非常に通行しにくく、早急にトンネルの整備か登坂車線の設置で審議して頂きたい。 ・地域経済の活性化の為に道路整備、特に基幹道路となる国道256・257号の濃飛横断自動車道としての片側2車線化の促進は不可欠であると思えます。 | | <ul style="list-style-type: none"> ・もう一つは塞の神峠トンネルの南側のカーブの件。どちらも県の担当道路になるのだが、県が整備して管理する国道としての位置づけというのがある。 ・2年ほど前だったか、12月始め頃の大雪でビニールハウスがたくさん倒れた年に、ちょうど副知事が視察に来られ、それ以前より私も前加子母村長から、特に雪の時の大変危険な状態であると聞いていたので副知事が視察に来られる時もひとつの課題として対応した覚えがある。 ・今、政権交代がおこり、道路に対して大変厳しい取り組みに新政権がなってきている。 ・公共事業の中、国で確保する予算が全体的に前年の8割削られてきている。そのなかでも新しい箇所は特にかからない方針になってきている。これは政権交代によって如実に表れている部分で、コンクリートから人へという言い方の中で公共事業の圧縮という形で出てきている。 ・もう一つは岐阜県の台所事情で、景気の落ち込みによる税収不足もあるが、過去に色々な事業をした事による借金の返済なども膨らんできており、予想では来年度は予想される収入と支出で、収入の方が少なくなるという事。支出項目も300を上回る。 ・今までのように色々な事業が出来ない形になってきている。これが実情である。 ・私どもも訴えをしていく事は引き続きやっていくが、なかなか厳しい状況である。 ・現実問題の厳しさもあるが、リニアを視野にいった広域のまちづくりで南北交通を強化しなければいけない気持ちは持っているが、二車線化していくとなると、東西交通との接点のあたりから、これから詰めていく話になると思うので、すぐにはいかない部分がある。257号の国道が大事だという事はもちろんである。 ・まずひとつひとつ道路の混む場所などを良くしていく事が必要である。現在、福岡の交差点の改良をしている。交通の信号を市道よりも国道を優先的に青信号の時間を長くし、南北の流れを良くする事は市で出来 |
|--|---|--|---|

| | | | |
|--------------------------------|--|----|--|
| | | | <p>るので、そういう事はやっていきたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・具体的にはクロネコヤマトの配送所がある辺りの交差点で、地元からも声があがっている場所なので、そういう事をやることによって流れを良くする。市で出来る部分は市としてしっかりとやっていく。 ・抜本的な部分においては県でやっていく必要があるのでは、それはまた訴えていく。 |
| <p>(付知) 日赤奉仕団 ●●さん</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・老人家庭に少しでも手当がでないかと思いい見を述べさせていただきます。 ・現在、政権が交代して子ども手当を26,000円と声高に言っている。 ・少子化を防ぐ為の政策かとは思いますが、子どもに関しては、私たちの子育ての頃は児童手当などなく、3人目を産まないとい銭ももらえない、3人目からは5,000円、それも少しの間だけ貰えるだけだった。 ・医療費も1年は無料だったが、後は支払っていた。それと思うと今は親も子も恵まれた時代で良いと思うが、老人に関しては、後期高齢者医療制度は先送りだと言っているし、介護保険・後期高齢者医療になってから、老人の負担がすごく増え、介護保険をかけても家で介護する分に | 市長 | <ul style="list-style-type: none"> ・お話しは良くわかりました。矛盾点という事でお話しされた気持ちの部分はその通りだと思う。 ・介護保険はご承知のように各家庭で介護していく事が破綻してきて、それを何とか社会全体で支えていこう、それを保険でやろうということが出来た。 ・それはそれで重要な事をやっているが、その制度の中で今度は社会全体ではない選択として家庭で介護する事を選ばれる方、それは介護される方の出来るだけ家に居たい、地域の中に居たいという気持ちを重視しやられている事であり、そういう取り組みは貴重であると思う。そういう人たちが、保険は払っても給付がない状態で苦労だけが残る。 ・その矛盾点は良くわかります。その点については私も少し勉強をさせて頂き、方向性を何らかの形で持ちたい。 ・市の税金でやるべきかという事になると、私は保険料の中でやっていく事がまともではないかと思う。 ・税金でやるという事からはちょっと外れているという気はするので、少し勉強させて頂き、訴えるべき点は訴えていきたい。 ・まだまだ私も勉強しなければいけない部分がある。東京で市長会の理事評議委員会というのがあり、その前段階で社会教育委員会というのが市長会の中にある。その社会の部分に介護も入っており、介護関係の役割をもらっている部分があるので、そういった場面で主張すべき部分が私なりに見つければ、訴えていきたい。 ・お話し頂いた部分も大変大事な部分であるし、他にも同じような声を持って見える方 |

| | | |
|--|---|--|
| | <p>は何も貰えない。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・おむつ代など対象になっているものを使えば少しは貰えるが、介護をする者には本当に何も無い。 ・自分も親を二人自宅で見た。施設へ行く事を拒否したので、自宅ですべて見た。また、実家の親もそんな様に母がお父さんをずっと看ていたが、呆けで近所を徘徊したりと、目が離せない、でも施設には入れたくないし、本人も行きたくないという状況。 ・やはり最後は家庭で最後を迎えたいのが、人間の気持ちだと思うし、そういう人に自宅で介護しても何も貰えないのかと聞いたら、そういう人には何も無い、施設に行けばそこへは補助はあるが、自宅で看れば介護保険からはなにもないよという話だった。 ・何か矛盾していると思う。取るだけは取って、払う方は出来るだけ払わないような、すごい片手落ちの保険制度のような気がする。 ・収支の部分から考 | <p>はたくさんいる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・正当なご意見・ご要望だと思うので、すぐに出来るかという事は、ここでなかなか約束は出来ないが、介護保険の見返りとしての給付の一項目にならないかというあたりで勉強してみたい。 |
|--|---|--|

| | | | |
|-------------------------|--|-----------|--|
| | <p>えて仕方ない部分はあるかもしれないが、市でも介護保険でも、やりくりが出来れば、子ども手当の26,000円と言わなくても、例え10,000円でも介護の人に手当をあげられれば、気持ち的にも楽になり一生懸命介護してあげられる気がします。</p> | | |
| <p>(加子母) ささゆり会 ●●さん</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・市民生活の安全という観点から雪対策に関する質問をします。 ・今シーズン中津川市でも特に付知北部と加子母地区では近年にない大雪となり、車を持たない方々、特に高齢者の歩行や通学用歩道等の除雪には大変苦労している。 ・歩道や農道は、ボランティアで軽トラの後ろにV字の板を取り付けて雪かきしている。 ・自分の家の周り自分たちで雪かきをするようにしているが、最近は高齢者の家庭が増え、昔のように家の周りを雪の軽いうちに雪かきをして、歩道などを確保する事が困難となってきた。 ・現在加子母には学 | <p>市長</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・雪かきをボランティアでやっているという事で大変ありがとうございます。 ・その話を前提に、効率のいい雪かきの機械が欲しいとのお話しを頂いた。 ・基本的な話として今お話しして頂いた部分で、市としても身の回りの事は地域の人にやって頂きたいと思っている。その為に必要な機械や資材は市で用意するという事で、これは雪かきだけではなく例えば河川などで河川敷を公園化したいという要望が出てくる事があるが、その草刈りなどはやってもらい、その油代は市で負担する。 ・道路を地元の人たちが多少広げたいという時は、ブロック積みのブロック等は市で用意し、土木の経験がある方にも手伝ってもらい、多少の道路の拡幅は地元でやってもらう事もやっている。 ・基本的にそのような方法で、機械・資材は市で、労力を地元でやって頂く形でやっている。 ・今の話はどのような機械を何台という話になると、もう少し検討していかないといけない。 ・もう一つは高齢化率が高くなったという事で、労力もなかなか提供してもらえない部分もあるかと思う。これはもう少し広い範囲で捉え、ある地区だけの範囲に限らず、広い範囲で区切り、他の地区でも助けることが出来ないかというような話も組み立て |

| | | | |
|-------------------------------------|---|-----------------|---|
| | <p>校用に雪かき機が2台ありますが、50cm幅で速度も遅く全く間に合いません。</p> <ul style="list-style-type: none"> ボランティアによる歩道・独居老人の家の周り等の雪かきの為、市で大きい除雪機を購入して頂けないか？ 融雪剤もきめ細かく配布してもらえるとありがたいです。 先程、塞の神峠の道路の話が出ていましたが、加子母から中津川市の中央に出かける時や、乳児健診・予防接種にはどうしても塞の神峠を越えて行かなくてはならない。塞の神峠は雪がなくても凍結するので、必死で運転しなければならない。 せめて健診、予防接種は冬場だけでも加子母内で対応して頂けるよう配慮をお願いしたい。 | | <p>て頂くとありがたいと思う。</p> <ul style="list-style-type: none"> 塞の神峠については、先程も話して頂いたところで、新規箇所については大変厳しい。今の状況はすぐには変わらないはないと思うので、年間の中における一時期だけサービス拠点を増やす事もっともな話だと思う。 医師の部分までかかわってくる事なので、今ここでわかりました、やりますというわけにはいかないが、ご事情・ご要望の内容はわかりましたので、その点についても調整をしていきたい。 |
| <p>(付知) 付知レディスサークル ●●さん</p> | <ul style="list-style-type: none"> 総合事務所職員の人数が減って、付知出身の地元職員も少なくなっており、総合事務所へ行った際、知らない職員ばかりだという声があちこちから聞かれる。 市役所、総合事務 | <p>付知総合事務所長</p> | <ul style="list-style-type: none"> 地元には地元の職員をという話でしたが、私も2年前に異動してきた時には3分の1から約半分弱の職員が地元だった。 現在、総務部人事課と所長の所管として総合事務所の職員として地元の職員が欲しいということで相談をしながら調整をしている。 調整した結果、市長が決定する事となる。地元の職員を増やしたいという気持ちはも |

| | | | |
|--|--|-----------|---|
| | <p>所は緊張する場所なので、知っている職員がいると安心する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地理的な事を話してもなかなか通じない事がある。 ・全員付知出身の職員にして欲しいわけではない。人事交流や適材適所で人事異動をされると思うが、例えば給食センター職員が付知から坂下に異動になり、反対に坂下から付知に異動して来ている。それはエコではないと思う。通勤費、職員の時間等もつたいないような気がする。 ・リーダーとしてあちこち見て頂かなければならない職員については良いと思う。 ・適材適所もあると思うが、地元の職員をなるべく地元の総合事務所に配置して欲しい。 ・やはり自分の地元だと愛着もあると思うので、一生懸命やってくれると思う。 ・余所に異動になったからいい加減にやっているという意味ではないが、地元としては地元出身職員が多いと良い。 | <p>市長</p> | <p>っている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・挨拶でもお話しした通り、合併して5年経った。合併10年という考えでいくと一体感を持たなければならない。どこの職員が来ても地元中津川市出身の職員である。 ・私も全国色々な場所に行って仕事をやらせて頂いた。それなりに不慣れな土地もあったが地名など教えてもらい努力してきた。その土地へ行ったらその仕事として気合いを入れて取り組む。地元出身でないから仕事の取り組みに支障があるのでは困る。 ・余所から来てしっかり仕事をしていない職員がいれば教えてもらいたい。 ・市職員を850人体制にしようとしているが、合併後100人減って現在950人程度になっている。あと2年程度で850人にしていく。85,000人の市にふさわしい職員体制にしていきたい。 ・今まで以上に職員一人一人がしっかりと仕事をやる職員になってもらわないと困る。地元の事はわかるからしっかりとやるが、余所の事はわからないから出来ない、先程の話ではそんな事はないと言われましたが、他の地区から来ている職員がそうであるからこういった意見があると思う。 ・職員からそういった思いが地域の皆さんに伝わらないように、余所からきた職員の方がよく仕事をするぐらいの市役所にしないといけない。 ・合併後10年経つと合併特例債なども減ってくる。合併しなかった市町村と同じ交付税の状態になる。今後財政的にもきつくなり対応できなくなる。 ・地元の方に余所から来て働いていない職員に対しては厳しく指導して頂きたい。地元の方に尋ねれば良い事。なぜ聞かないのかというくらいに職員をひっぱり出して欲しい。 ・総合事務所の中でも甘い考えは捨ててやっていく。そうでないと合併後10年経過した中津川市が維持出来ていかない。 |
|--|--|-----------|---|

| | | |
|--|--|---|
| | | <ul style="list-style-type: none"> ・市税が約100億、景気が厳しくなってくると税収も減ってくる。現在の人件費は80億かかっており、これを減らさないといけない。850人体制になると少しは減ってくるが、職員が減っても今まで以上に仕事はやってもらわないといけない。 ・一人の仕事量を保ち、更に今まで以上にやっていくぐらいの職員になってもらわないと合併後10年過ぎた後はやっていけない。 ・その雰囲気にする為には、合併後10年の後半の部分で訓練していかなければならない。そういう意識の中で地元の方も、余所から来たからわからないと言っている職員がいたら私に言って欲しい。それぐらいの思いでないといけない。 ・どうしても地元職員が必要という部分については、適材適所でしっかりと手当てしていく。 ・旧付知町役場の職員ではあったかもしれないが、他へ行けば新しい中津川市職員であり、新しい中津川市の一地域を担当することで地元意識をしっかりと頂く市役所にしていきたい。皆様もそういう形でやって頂きたい。 ・そういった考え方の中で、所長に人事の提案権を大きくしていきたい。 ・出先としての事務所の機能について、人間に例えると目と耳と頭と手足という機能を考えている。耳でしっかり皆さんの声を聞く、目でしっかりと見る、頭で考えてこのまちをどうしていくかをしっかりと行う。 ・その事務所に行ったらその地域の郷土愛を培い、地域の皆さんと交流をして地域の雰囲気をつくるぐらいの職員であって欲しい。 ・そういった体系の中で、所長が事務所を運営していく為に必要な人材をしっかりとあげていく。それにはしっかりと答えていきたい。 ・今後の合併10年以降に備えていきたいと考えている。 ・少しきつい回答であるがご理解をお願いし |
|--|--|---|

| | | | |
|------------------------|---|----|---|
| | | | たい。 |
| (加子母) ささゆり会 ●●さん | <ul style="list-style-type: none"> ・義務教育の児童・生徒の医療費無料化についてお尋ねします。 ・現在、小学生以下と中学生の入院は補助で無料化して頂いていますが、中学生の通院も補助して頂けないか。 | 市長 | <ul style="list-style-type: none"> ・議会でも複数の会派から要望書を頂いている。それを受け止めるかたちで検討しているが、ここにきて子ども手当の話が出てきており、そういうものとの調整が必要。 ・子ども手当は色分けなしに1人当たりいくらかという事で、それを医療費に使っても教育費に使っても他の事に使ってもいい。その事で情勢が少し変化してきたかなと感じている。 ・恵那市や瑞浪市は中学生の通院費も無料になっている。その点で行くと中津川市は条件が悪くなっている。そうすると恵那市や瑞浪市に人口が流れていく傾向が出てくると思うので、そういう観点から見ても前向きに考える必要があると思うが、子ども手当との関係においては将来どうなっていくのかを見極めながら物事を考えていく必要がある。その際には恵那市や瑞浪市も含めて、もう少し広い範囲でこの案件をどうしていくかを話し合う必要がある。 ・多治見市はまだ小学3年生まで無料というレベル。人口の多い市がそんなかたちではあるが、東濃五市のところでは、中央線沿線の市で足並みをそろえて物事を考えていく事が必要。 ・同様に子ども手当の検証、効果の見極めも5市そろって行いたいと思い、呼びかけの事はやっていきたい。 ・結論的には恵那市や瑞浪市との差という中で、前向き捉えていく必要がある。 ・付け加え的な話だが、今の要望に関係にして医療費が無料になると、今度は医師の対応がどうしても増えてくる。特に公立病院の医師の方々は今でもキチキチでやってもらっているが、今後も厳しい事が予想される。 ・中津川市では少ないと思うが、コンビニ受診などと言われる、軽いと思われる病気でもとにかく市民病院へ行くような事例もある。 ・家におばあさんなどが見えれば、子育ての経験者として朝になって見てもらえばいい |

| | | | |
|--------------------------------------|---|-----------|---|
| | | | <p>など言ってもらえるが、そうではないと夜中にも市民病院へ来られる。勿論、本当に必要なもの、判断がつきにくいようなものは看てもらわなければならない。</p> <ul style="list-style-type: none"> • ひとつの考え方として、お母さん方にも判断出来るよう色々な形で頼んで頂き、コンビニ受診と言われるようなものを出来るだけでなく、だが必要な受診はしっかり見る。そういう形の市民運動というか、皆さんが判断をして頂けるようにその材料提供を皆さんと一緒に作り作成してお配りし、皆さんで判断が出来るように、判断がつかなかったら病院へ連れて行く事になるが、そんな事も議会でも話題になった。 |
| <p>(付知) 北商工会付知支部女性部 ●●さん</p> | <ul style="list-style-type: none"> • 子育て支援の関係になります。 • 以前は付知地区に助産所があったが今はない。里帰り出産も出来ないという事で、心配なく子どもが産めるようにこの地区でも助産所が出来ないか相談をした。 • 人口増加と言っても産む場所がないようでは人口が増えないのではないか。 • 現在、病院では里帰り出産が出来ないので、里帰り出産が出来るようにして欲しい。 • 定年過ぎてやめられた助産師の方など結構おられるので、そういう人をお願いして助産所が出来ないか。 | <p>市長</p> | <ul style="list-style-type: none"> • 現在、中津川市市民病院の産婦人科で3名の医師でやって頂いている。恵那市にも産科がない状態になっている。その他、林レディースクリニックが中津川の街中にあり、そこで1名医師がいるので、4名で中津川市、恵那市を含めて支えている状態。 • 里帰り出産を実現する為には、もう1名は医師が必要。 • 中津川市民病院の産科の医師の3名のうち2名が60歳以上という状況なので、危機的な状況であるという認識のもとに名古屋大学の産科の教授のところは何回も通ってお願いしている。名古屋大学の教授としても医師を送りたいが、なかなか送り込めない状況。これは政治的の問題の部分があると思っている。 • 研修医制度というのが変わり、大学病院でなくても研修出来るようになり、街中の総合病院でも都会の総合病院でも出来るようになった。それはそれで一つのねらいがあったのだが、そういうかたちにした事で大学の研修医が条件のいい総合病院に流れてしまい、大学病院が医師不足になってしまった。その結果、今度は大学が地方に派遣していた医師を引き上げるようになってしまい、地方の医師が不足するという事がテレビなどでもよくニュースになっている。 • 厚生労働省の方向性の中で行われたのだが、一つのねらいとしては研修医の制度を変える。ねらいとしては待遇の面を良くし |

| | | | |
|--|--|--|---|
| | | | <p>ようだとか、専門家過ぎる医師ではなく、あれもこれも診れる総合的な医療が出来るような医師を確保していく等のねらいがあった。だが、それをやった為に出た影響は地方の公立病院の医師不足という形で出てきてしまった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・そういうところから煽りを受け、今の状態になっており、その流れが止まらない状態である。 ・市民病院の60歳以上の医師2名の後任をという事でお願いしても、難しい状況でありギリギリの線でいっている状況。その状況で地域の里帰り出産を今の3名+1名という事になるとかなり厳しい。 ・中津川市民病院産科として年間450例ほど扱っているが、一人の医師で扱う分娩数としてはちょっと多い状態で、里帰り出産を断っていてもその状態である。 ・名古屋大学の産科の教授のところには何回もお願い行っているのだが、なかなか派遣出来る医師がいないと断られている実情です。 ・助産師さんはひとつの方向性だと思うが、特に院内助産院のかたちでいくと、助産師を5名揃える必要がある。何か起こった時に、ある程度近い距離の中に集中治療等を行える施設が必要。それは市民病院という事になる。 ・例えば坂下病院には分娩施設あるが、医師に来て頂けない。院内助産院というかたちで出来ないかと検討したが、何かあった時の距離でいうとちょっと遠いという事で、なかなかいい話になっていない。 ・助産院という形は私も検討はしているが実現はしていない。 ・少子化という事を考えれば、里帰り出産以前に中津川市に住んで頂いている皆さんへの対応だけで精一杯でもある。また今も課題を抱えながらやっている状況である。 ・市長の立場で出来る事としてはお願いするしかない状態であり、なおかつお願いしてもなかなか医師がいない。しかし、お願いし続けるのも大事なことであるので、それはこれからもやっていきたい。 |
|--|--|--|---|

| | | |
|--|--|--|
| | | <ul style="list-style-type: none"> ・現在は、60歳以上の2名の医師の後任をいかに確保するかが一番頭の痛いところ。それに向けて動いている状況です。 ・2年程前の参議院議員選挙の前に、研修医制度が変更になり全国的に問題が噴出した。その時に当時の自民党政府と与党の合意とで、医師確保対策のひとつという事で、国立病院の医師をプールして、医師の不足しているところへ派遣しようという事が多少言われた時があった。参議院選挙が終わったらそれも言われただけで終わっていた。そういう意味では前の政権から引き続く今の政権の大きな課題だと思っている。 ・その大きな元の部分は文部科学省の大学の医学部の定員の押さえにある。医師の養成数を抑えている為に、少ない医師がどうしても条件が優位なほうへ流れていく。そうして公立病院から逃げていってしまう。 ・大学の医局が若い医師にあそこ行け、ここへ行けといってくれば良い。 ・そこを何とかしないとダメだという事で、そちらも働きかけをしていきたい。 ・私にとっても大変頭の痛いところ。何故かという自分で動かせない部分で物事が決まってしまう。市民病院としての医療の提供は市としての責務である。その一番のポイントはお金をいくらつぎ込んでもダメなところで、市としてはお願いするしかない。それを受け入れてもらえるかどうかという事だけ。 ・何とかここに住んで頂いている方の出産についての安心感だけはまずは確保していきけるよう動いていきたい。 ・医師に来て頂ければ、相応の給料も出しますし、宿舎も提供していきます。そういう改善も必要ですが、そこがネックで来て貰えないというわけではない。医師の派遣は大学のそれぞれの診療科の教授が決める事。その一声がないと医師も派遣出来ない。願いに応えて頂けるかは大学の教授の気持ち次第。その気持ちを動かすように頑張っていきたい。そういう意味では非常に脆弱な基盤の上に立っている事を痛切に感じている。 ・恵那市も中津川市民病院に依存している部 |
|--|--|--|

| | | | |
|--|--|--|---|
| | | | <p>分がある。恵那市長とも一緒に訴えをしようと呼びかけをして頂いている。恵那市長も同行すると言われた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・私1人で行くよりも二市の市長が揃って行った方が強いかたちになる。恵那市長とは産科以外の部分でも一緒になって、1人より2人でお願いの力を強めていきたいと考えている。 |
|--|--|--|---|

■市長総括

- ・今日は色々な形でコミュニティバス、婚活の話、道路整備、自宅介護での手当の話、雪かき機材の話、雪の時期の健診のあり方、総合事務所の人事のあり方、医療費の無料化、助産所の開設の話、産科の話という事で、それぞれご意見ご要望を頂き、お答えもさせて頂いた。出来ていない部分はまた勉強させて頂きお返しをしていく。
- ・この懇談会は言いつばなし、聞きつばなしにはしない。さまざまな声を聞かせて頂き、お答えをした。出来ないところは出来ないと答えさせてもらった。
- ・総合事務所の人事については、少し強い調子でお答えして申し訳ありません。
- ・最初に申し上げた3点セットプラス4に関わる内容がやはり多く出てきたと思う。その点については、市で取り組んでいる方向性と一致する方向で、色々なご意見や頑張れという言葉頂いたような気がします。その力を頂きながら取り組みをしていきたい。
- ・本日、ご意見、ご要望を頂いた皆さまには、それぞれ周りの皆さんとも相談して頂き、きっちりした形でご意見ご要望を出して頂いた様に感じた。そういう重みを持って私も受け止めさせてもらった。
- ・先程申し上げた言いつばなし、聞きつばなしにしない取り組みを更に深めていきたいと思う。今後ともよろしくお願いします。
- ・今日は寒い中、また加子母の方は昨年とは違い、遠いところを来て頂き、熱心に懇談会に参加をして頂いてありがとうございます。
- ・また司会、副司会をやって頂いたお二方には、ご苦勞なお仕事をして頂きありがとうございます。
- ・これからも加子母・付知地区、また新しい中津川市全体の発展というものにしっかりと取り組んでいきたいと思えます。皆様方のご支援をお願い申し上げましてお礼の挨拶とさせて頂きます。

■閉会（副司会）

閉会のあいさつ

- ・市長様をはじめ、市当局の皆様には女性の視点で市政に参画をすることの出来る機会を設けて頂いたことに感謝します。
- ・本日ご参加頂きました皆様におかれましては夜分お疲れのところご苦勞様でした。
- ・私たちの地域を住みよいまちにしていく為に、色々のご意見をさせて頂きました。この意見を市政に反映して頂ける事を希望いたします。
- ・これをもちまして懇談会を終了させていただきます。大変お忙しい中、長時間にわたりご苦勞様でした。

■その他の事項

女性懇談会終了後、北商工会付知支部女性部●●さんより火災時の広報無線について質問あり。

【質問要旨】

- ・個人情報の問題もあると思うが、火災時の広報無線で火災の詳しい位置や名前を知らせられないか。

上記の質問に対して、消防本部へ回答を依頼し後日文書で回答する事とした。